

# 香駿

独特の深みのある芳香と旨味と、  
渋味の調和した豊かな香味。



多収性で、耐寒性強く、製品は形状が細よれしやすく、香気に特徴のある品質秀逸な中生品種です。消費者嗜好の多様化にとまない、新たな消費者の開拓に向きます。

## 品種の来歴と特徴

静岡県茶業試験場が「くらさわ」を母親、「かなやみどり」を父親として交配し選抜育成した品種で、平成12年に品種登録されました。摘採期は「やぶきた」と同じか1日遅い中生種で、樹姿は開張型（横に広がりやすい生長特性）、樹勢は「中」、新芽は芽数多く芽揃い良好で多収となります。耐寒性は赤枯れに「強」、耐病性は炭そ病に「やや弱」、もち病に「中」です。

## 品質の特性

形状は細よれで良好であり、香気は持続性のある清涼感をもち、「やぶきた」とは明らかに異なる特徴的な香気を有します。滋味は渋味と旨味の調和がとれ、豊かな香味を持っています。

## 栽培上の注意点

開張型で仕立ては容易ですが、成園化する

に従い芽数型の傾向が強まるので、更新などを計画的に行う必要があります。

## 普及および栽培適地

耐寒性強く多収性の品種であるので県下全域に適します。香味に特徴があるので、品質をセールスポイントとした銘柄化を目指す地域に最適です。

## 苗木の入手方法

種苗法登録品種ですから、苗木を入手するには県と許諾契約を結んだ者から購入することができます。県経済連が取り扱うので農協に申し込みます。

## 命名の由来

駿河の国で育成され、「やぶきた」とは異なる優れた香りを持っていることから命名されました。



品種名	育成年	種苗登録の有無	育成場所	来歴	
				くらさわ	かなやみどり
香駿	2000	有	静岡茶試	くらさわ	かなやみどり

早晚性	樹姿	樹勢	収量性	品質			耐寒性 (赤枯れ)	耐病性 (炭そ病)
				色沢	香気	滋味		
早生	開張	中	多	上	上	上	強	やや弱